

# 令和3年度 大鶴湖の水環境に係る関係者会議

## 会議要旨

- (1) 鶴田ダムの外来水草の繁茂・対策状況について
  - ・回収し乾燥堆肥化させている外来水草が、今後実施する種子発芽試験で発芽しないことを確認した上で埋設を実施することが重要である。
  - ・乾燥堆肥化させている期間の温度を確認していくことが重要である。
  - ・外来水草の発芽メカニズムの解明には、水中、水面より上の土中にある種子や水面に浮遊した種子等さまざまな条件で発芽する可能性があることを考慮した調査が重要である。
  - ・種子が休眠する可能性を考慮した調査が重要である。
  
- (2) 外来水草の対応方針（案）について
  - ・外来水草対策は、ダム湖全体に広がる前の早期の対策が必要なため、外来水草の生活史を把握することが重要である。
  - ・越冬個体がいると春季以降急激に増加することから、越冬個体の対策が重要である。
  - ・植物の生態は短期間で変化する可能性があることに留意した調査が重要である。
  - ・対応方針（案）については了承する。
  
- (3) 各関係者の情報提供（等）について
  - ・一般の方への意識啓発は、伝え方を工夫し実施することが重要である。

以上